

こんにちは！ 保健師です



子宮頸がんは 予防ができる がんです

子宮頸がんは、

どんな病気？

子宮頸がんは、子宮の入り口（頸部）の表面にできるがんで、原因やがんになる過程がほぼ解明されている、予防ができるがんです。

また、定期的に検診を受けることで、がんになる前に発見することができ、子宮を失わずに治療することが可能です。

特別な人になる病気ではなく、女性なら誰でもかかる可能性のある病気です。

最近では若い女性の発症が増加し、20代後半から30代で急増しています。女性特有のがんの中では乳がん

について第2位を占めており、日本では、毎年約25

00人の女性が、このがんによって命を落としています。

子宮頸がんの原因は？

原因は、ほぼ100%がヒトパピローマウイルス（HPV）というウイルスの感染であることが明らかになっています。HPVは、女性の約80%が一生に一度は感染していると報告があるほどとてもありふれたウイルスです。子宮頸がんの原因である発がん性HPVは、皮膚と皮膚（粘膜）の接触によって感染するウイルスで、多くの場合、性交

渉によって感染すると考えられています。

このため、性交渉のある女性は子宮頸がんになる可能性を持っています。発がん性HPVに感染しても、90%以上の方は免疫力によって自然に排除されま

す。

ワクチンと検診で

子宮頸がんを予防できます。子宮頸がんを発症した7割の方からは、発がん性HPV16型と18型の感染が確認されています。子宮頸がん予防ワクチンは、この2つのウイルスの感染をほぼ防ぐことができます。また、子宮頸がんになるまでには、感染してから発症まで長い時間がかかるため、定期的な検診を受けることで、がんになる前に治療が可能です。



子宮頸がん予防ワクチンの接種費用全額助成を始めました！

対象 中学1年生、高校3年生に相当する女子
医療機関 蘭越診療所、昆布診療所、昆布温泉病院

接種回数 6ヶ月の間に

3回、筋肉注射により行います。

助成額 全額助成（3回接種で4万6千860円）

子宮がん検診を

受けましょう！

定期的な健診で、がんになる前の兆候を見つけることができます。自覚症状がなくても、20歳を過ぎたら年に1回検診を受けましょう。

ワクチン接種は、子宮頸

がんの予防に大きな効果があります。すべてのHPV感染を予防できるわけではありません。ワクチンを受けても、早期発見のため

の定期的ながん検診の受診が大切です。



乳がん・子宮がん

検診のご案内

集団検診

日程 11月19日（土）・20日（日）

場所 保健福祉センター

取りまとめは10月の回覧を予定しています。

個別受診

日程 通年

実施機関 北海道対がん協会、俱知安厚生病院

受診券を発行しますので、健康づくり対策係へご連絡ください。

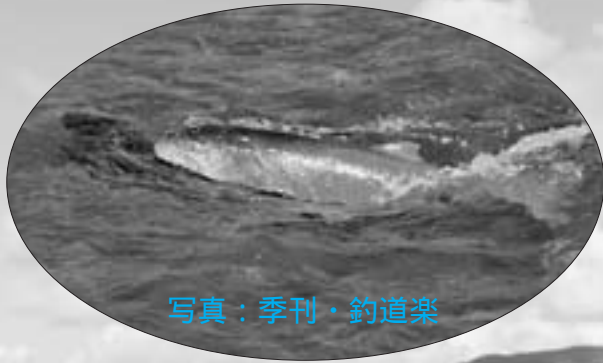
お問合せ 健康づくり対

策係 ☎ 57・6969

尻別川統一条例の改正について

制定から5年

平成18年に、人と川の共生を目指し「河川環境の保全に関する条例」を尻別川流域の7町村が統一して制定しました。この条例は、母なる尻別川の良好な河川環境を保全するために、河川の水質保全に関する各種施策のほか、森づくりや景観の保全といった、流域の水文化の振興など、河川環境の保全について幅広く取り組む内容となっています。



写真：季刊・釣道楽

貴重な生物を保護

平成22年5月に尻別川支流で釣り人が数匹のイトウの産卵行動を目撃し、尻別川にイトウが戻ってきたことが確認されました。尻別川河川連絡協議会（会長蘭越町長宮谷内留雄）では、河川環境を保全するためには、水質のほかに、水量や水辺の空間、動植物が「水循環」という仕組みの中で総合に関係しているという考え方に立ち、「生物多様性の保全」を条文に追加し、イトウをはじめとする希少な生物に対する保護について配慮することとしました。

今後の取り組み

新たに追加した条文には、生物の豊かな多様性を支えるための繁殖環境の保全や啓発活動の推進を明記しました。が、今後は、協議会としての取組や各町村が独自に取組む方策の具体化を進めるとともに、条例改正の意義を広く周知していくこととしています。

東日本大震災

～支援の輪が広がっています～



三和小学校の皆さん

みなさんからの義援金

日本赤十字社

蘭越町分区寄付分

三和小学校

蘭越町共同募金

委員会寄付分

蘭越2町内会

(8月1日現在)

敬称は省略し、町内会、団体、会社からの募金のみに掲載しました。